



記念碑群 コルドバのメスキータ-大聖堂



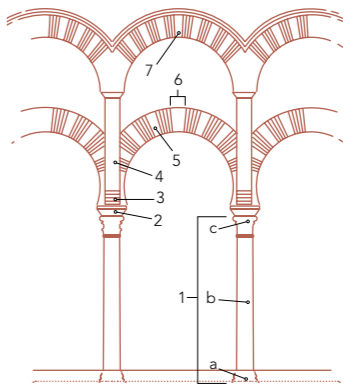
13 塔-鐘楼
当初のモスク時代はイスラム教寺院のミナレットとして、現在では大聖堂の鐘楼として街を見下ろすこの塔はコルドバの風景に欠かせないシンボリック的存在となっています。さまざまな改修が重ねられ、今日の比類ない姿になりました。

その他の見どころ

- A ヌエストラ・セニョーラ・デ・ラ・コンセプション礼拝堂
- B パブロ・デ・セスペデスの「最後の晩餐」祭壇画
- C 聖ピセンテ教会遺跡の展示エリア
- D 聖テレサ礼拝堂と大聖堂宝物室
- E ペドロ・デ・コルドバの「キリストの受肉」祭壇画
- F 作者不詳の「キリストの洗礼」壁画
- G アル＝マンズールによる増築部分における石工の符号
- H アルハケム2世による増築部分における当初の東側外壁
- I アントニオ・パルミーノによる祭壇背後の飾り壁
- J アントニオ・デル・カスティージョによるヌエストラ・セニョーラ・デル・ロサリオ礼拝堂の祭壇画
- K 当初の建築における屋根組の梁

建築構造

ローマ時代の水道橋や凱旋門をモデルにしたとされているこの建造物は円柱の集合体を基盤に、二重アーチのシステムが取り入れられた構造になっています。さまざまな建築要素が統合されたこの独創的な解決法は大胆かつ個性的であるだけでなく、建築物に透明性やすっきりした軽快さをもたらしています。



- 1. 円柱
- a. 礎盤
- b. 柱頭
- c. 柱頭
- 2. 波形の削形
- 3. S字形の飾り持ち送り
- 4. 柱形
- 5. 馬蹄形アーチ
- 6. 迫石
- 7. 半円アーチ

C/ Cardenal Herrero, 1
14003 Córdoba (スペイン-Spain)
電話番号: (0034) 957 470 512

www.catedraldecordoba.es
informacion@atedraldecordoba.es
Follow us in Facebook



9 サグラリオ小教区教会
この最大の魅力は1583年にチエーザレ・アルバシアにより着手された一連の壁画で、当時のイタリアで主流を占めていた芸術作風が取り入れられています。祭壇の付近の「最後の晩餐」をはじめとして、主に殉教者をテーマに描かれています。

10 翼廊
優れた建築技術が誇示されているこの空間では、ゴシック様式、ルネサンス様式とマニエリスムが見事に融合しています。広大な明かり取りの役割を果たしている翼廊は建物全体に光をもたらし、この類稀な建築物に一層複雑な美しさを添えています。



12 オレンジの中庭
かつてイスラム時代にはみそぎの中庭として使われていたこの場所は教会の中庭となりました。中庭は、フランシスコ・レイノソ司教が、礼拝堂の円柱の森の延長として数々のオレンジの木を植えさせたことから現在のような外観を呈しています。

11 聖歌隊席
1748年聖堂参事会は聖歌隊席の彫刻をペドロ・ドゥケ・コルネホに依頼しました。彫刻自体のみならず、聖画像としても非常に優れた価値を有していました。聖歌隊席の中央に位置する司教座の彫刻も手がけましたが、中でも「イエスの昇天」は特に卓越しています。



8 アル＝マンズールによる増築部分
アル＝マンズールによる増築部分は広大な面積に及ぶ工事であったにもかかわらず、造形の面では新たな価値を添えていません。アーチを構成する迫石はレンガと石の積み重ねではなく、塗料で赤と白の縞模様が描かれています。同様に中庭も拡張され、地下に貯水槽も設置されました。アル＝マンズールによる増築で中心線がずれ、周りを取り囲むスタイルで、無限の空間の広がり強調されています。

6 ミフラーブ
この場合、祈りを捧げるメッカの方向を示す単なる壁龕の域を超えて、帆立貝のような形をした八角形のドーム型天井を備えた極めて美しい空間になっています。伝統的なビザンチン様式のモザイク装飾は、皇帝ニキフォロス2世の命で呼び寄せられた職人により手がけられました。ミフラーブのみならず、宝物室に隣接した扉やセバット門を覆うアラブ建築特有の草花模様や豊かなモザイク装飾に力強い創造性が見て取れます。



- 当初のモスク**
アブド・アッラフマーン1世
- 最初の拡張**
アブド・アッラフマーン2世
- 2度目の拡張**
アルハケム2世
- 3度目の拡張**
アル＝マンズール

7 王室礼拝堂
この建物にはスペイン王室の権力とカトリック信仰も反映されています。エンリケ2世は1371年、アルフォンソ11世やフェルナンド4世を埋葬するための王室礼拝堂の建設を命じました。目を見張るモカラベ装飾の施された交差型アーチのヴォールトを備えたこの礼拝堂は現在見学することができます。

見学ルート見取り図



3 アブド・アッラフマーン2世の増築部分
円柱は礎盤のないスタイルになりましたが、当初の建築構造を尊重した形で拡張が行われました。この段階の増築部分で重要なのは11の柱頭で、地元の職人が穿孔技術による彫刻を施しました。

4 最初の中央礼拝堂(マヨール礼拝堂)ビシャピオサ礼拝堂
キリスト教の礼拝向けに建物を改築するため、ゴシック様式でバシリカ式の広い身廊を建設しました。当初、壁には美しい装飾が施されていました。2つの傾斜面を持つ屋根に講じられた解決策が注目に値します。漆喰のアーチが木の格間天井を支え、植物文様とラテン様式やギリシャ様式の装飾が交互に施されています。



5 アルハケム2世の増築部分
アルハケム2世による改築は、従来の建物を尊重して実施され、その外観は革新性と豪華さを特徴としています。葉と花の装飾模様、大理石やモザイクはマスクラやミフラーブで使用されている素材や装飾のほんの一部にすぎず、すべてが相まって世界建築の中でも最も独創的で美しい建造物を作り上げています。この空間には4つの明かり取りの窓が設置されており、まず最初はこの増築エリアへのアクセス部分、残りの3つはミフラーブへと続く部分にあります。その役割は光を取り入れることで、交差型アーチヴォールトを備えた長方形の空間を照らし出しています。

1 アブド・アッラフマーン1世による最初のモスクの身廊
最初に立てられたモスク(メスキータ)では、ダマスカスのモスクやエルサレムのアル＝アクサー・モスクからヒントを得たバシリカ式の建築様式が用いられています。古代ローマや西ゴート時代の建物が再利用されているため、これらの時代の建築物の特徴と古代ギリシャの建築様式が混在しています。その独創性は、天井を支えるための二重アーチに基づく建築構造にあり、後の増築部分の基盤を形成しただけでなく、建築の歴史に多大な影響を与えることになりました。



2 聖ピセンテ教会の遺跡
コルドバのメスキータ-大聖堂の地下には、聖ピセンテ教会の考古学遺跡が残っています。発掘作業で発見された遺物は現在、聖ピセンテ教会遺跡展示エリアに陳列されています。中でも、初期キリスト教時代の石棺の欠片、キリストを表すPとXの組み合わせ文字が刻まれた大理石の板や西ゴート時代の洗礼盤の遺跡などが特筆に価します。

コルドバのメスキータ-大聖堂は1882年に国定史跡に指定されています。さらに1984年にはユネスコの世界遺産に登録され、2014年の6月には「顕著な普遍的価値」を有すると認定されました。現在まで教会として使用してきたことでこの歴史的建造物を良好に保全できたことが評価されたためです。

文化遺産に対する深い理解を示し、受け継いだ遺産の重要性を十分認識しているコルドバの聖堂参事会では、1236年以来この歴史的建築物の保全と普及に取り組んできました。それ故に、この建築物を今日まで存続することができたと言えます。

年中無休

3月から10月まで
月曜日から土曜日
10:00 - 19:00
日曜日および聖日
8:30 - 11:30 および15:00 - 19:00

11月から2月まで
月曜日から土曜日
10:00 - 18:00
日曜日および聖日
8:30 - 11:30 および15:00 - 18:00

C/ Cardenal Herrero, 1
14003 Córdoba (スペイン-Spain-España)
電話番号: (0034) 957 470 512
www.catedraldecordoba.es
informacion@atedraldecordoba.es
Follow us on Facebook



コルドバのメスキータ-大聖堂は、芸術と信仰の千年以上にわたる結びつきを目の当たりにしてきた、世界で最も稀有な歴史的建造物のうちのひとつです。

古代ギリシャ、古代ローマやビザンチン様式の混在するイスラム建築が最も美しい表現方法でキリスト教建築と融合しています。建物の内部では、息を呑むような美しさの円柱の森、折り重なるアーチや天井を形成する空間に息づく、何世紀にもわたる時の流れが刻まれた類稀な芸術作品が見る者を驚かせます。

ウマイヤ朝の大モスクの美しさを賞賛した人々は、その価値を維持することの重要性とその術を心得ていました。今日、コルドバの大モスク-大聖堂は、西ゴート時代の教会として始まり、カリフ統治時代には壮麗なモスクが建設され、最後のキリスト教時代にはゴシック様式、ルネッサンス様式やバロック様式の装飾が施されたという、独特な歴史の豊かさを世界中に示しています。

ここは過去の美しい遺物でもなければ、よくある博物館でもありません。世界中の人々に開放された聖なる場所です。旧モスクの建造物全体が1146年には「聖マリア大聖堂」となり、後の1236年には正式に奉献されました。以来一日も欠かさず聖堂参事は、この壮大で美しい建造物でキリスト教徒のために礼拝を執り行っています。

それをよりよく理解するには、神々しい光から想起される靈性に満ちた雰囲気を感じていただく必要があります。芸術作品に関する説明を聴き、聖歌隊席に施されたレリーフ彫刻を鑑賞し、二色の色彩を放つエレガントな円柱の森をご散策ください。そうすれば、この類稀な美しさのコルドバのメスキータ-大聖堂がその歴史を通じてさまざまな文化や宗教を持つ人々により改修されてきた、生きた建物であることをその目で確認することができるでしょう。つまり、ここは外壁の内部に閉じ込められた建造物ではなく、聖なるものの神秘性を味わっていただくために存在することを肌で感じていただけるはずです。

西ゴート時代の聖ビセンテ教会(6世紀中頃)を含むこの建造物群は、この街で最も重要なカトリック教会となりました。イスラム勢力の支配後は敷地が分割され、モスクとして共同使用されるようになりました。

アブド・アッラフマーン1世

人口の増加に伴い、アブド・アッラフマーン1世が最初のモスクを建設しました(786年-788年)。キブラ壁に対して垂直なアーケードをもつ11の身廊が建設されました。中央部分の身廊は他の部分と比べてより高く幅が広がっています。他のモスクとは異なり、キブラ壁はメッカの方向ではなく南を向いています。

アブド・アッラフマーン2世の統治下にあった最も繁栄した時代に最初の拡張が行われました(833年-848年)。8つの身廊が追加され、礼拝の間が南側に拡張されました。

後の951年には、アブド・アッラフマーン3世が40 mの高さを誇る新しいミナレットの建設を開始しました。セビリヤやマラケシュのモスクのミナレットから着想を得たと言われています。

後ウマイヤ朝は政治的、社会的、文化的繁栄を享受し続け、コルドバの街をダマスカスに代わる重要な存在に押し上げました。アルハケム2世は、すべての増築部分で最も創造性の高い2番目の拡張工事(962年-966年)を実施しました。南側に12ベイ分拡張され、建物全体がミフラーブやマスクラを一層強調する細長い形状となりました。

アブド・アッラフマーン2世による増築部分

最後の拡張工事(991年)では、ヒシャーム2世時代の宰相であったアル=マンスールが権力が誇示されています。この段階では8つの新しい身廊が礼拝堂の東側に加えられました。その結果、均整の取れた正方形の空間が形成されることになりました。

1236年におけるコルドバの征服後、広大な明かり取りの役割を果たしていた、アルハケム2世により増築された部分に主祭壇が設置され、アルハケム2世のモスクはカトリック教会として使用されるようになりました。1489年、カトリック教会としての使用に合わせて中央礼拝堂が建設されました。翼廊の建設は1607年に完了し、この空間は「ビシャビシオサ礼拝堂」と呼ばれるようになりました。

アルハケム2世による増築部分

この翼廊の建設は司教のアルフォンソ・マンリケの提案で実施されました(1523年-1606年)。建築家エルナン・ルイス1世が建築主任を務めたこの工事は、カリフ統治時代の建築を翼廊として周囲に残すという独創的な設計で行われました。その死後、息子のエルナン・ルイス2世やファン・デ・オチョアなどの建築家が施工を引き継ぎました。翼廊の建設は、水平性を特徴とするモスクとは対照的に、建物全体の外観に垂直性をもたらすことになりました。

アル=マンスールによる増築部分

現在見られる姿はエルナン・ルイス2世が16世紀に設計したものです。

王室礼拝堂とゴシック様式の身廊

塔-鐘楼

エルナン・ルイス3世が後に鐘楼を加えたこの塔には、アブド・アッラフマーン3世の命で建てられたミナレットの名残が今日も見取れます。

免罪の門

1377年に建築が完了したこの門は、モスクの時代からこの歴史的建造物への主な入口として使用されており、さまざまな時代の影響が反映されています。

エルナン・ルイス1世が設計を手がけた翼廊を含む現在の歴史的建造物

セバット門

この門は、モスクのマスクラとウマイヤ朝宮殿を結ぶ抜け道に通じていました。カリフが祈りを捧げる際のモスクへの通路の役割を果たしていました。

サン・セバスティアン門

この建造物で最初のアラビア語による碑文が刻まれており、その起源は855年に遡ると言われています。スペインにおける最も古いイスラム建築の装飾です。

椰子の門

1533年、エルナン・ルイス1世が上部を加え、プラテレスコ様式の浮き彫り細工を施しました。

オレンジの中庭

現在の構造は16世紀末に形成されたもので、多数植えられた椰子の木、糸杉やオレンジの木が目を引きまます。

年表 ■ 建造物の歴史上の主な出来事 ■ 世界の歴史・芸術上の主な出来事

